

2024年度
短期留学成果報告書

学年	専攻 (楽器等名)	留学先	期間
2	MLA ピアノ演奏家コース	ギルドホール音楽院	3週間
1. 実施概要(具体的に)			
<p>4人の教授から1回1時間計6回のレッスンを受けることができました。又、希望すれば生徒の前で演奏し教授からアドバイスを受けることができるプラットフォームに参加することができます。練習は1日2時間土曜日を除いて学校側が留学期間毎日予約をしてくれていました。レッスンだけではなく必須参加の授業や、参加任意の授業が平日は毎日あり室内楽のコンサート等が学校のコンサートホールで開催されているので自由に聴くことができます。又、初日に学校の仕組みやIDカードの作成等、GSMDのアカンパニメントピアニストである赤城さんと教授の先生が教えてくださる為、留学期間中は積極的に図書館等の学校施設を利用することができます。他にも、GSMDの教授である小川典子先生が学校で歓迎の会を開いてくださった為、様々な国籍を持った生徒と仲良くなれる機会になりました。</p>			
2. 留学を通じて自身が得た成果			
<p>GSMDで3週間ピアノや音楽に関わる多分野について学ぶことができたのは私にとってとても価値のある経験でした。馴れない環境の中でどのようにしたら良いのか自分で考えたり周りの人に助けをもらいながらも積極的に英語で話をするのが求められた為、以前より自主性が身につきました。多様なバックグラウンドを持った音楽を学ぶ友達と知り合ったことで演奏において自分に足りていない部分が見えてきたり取り入れていきたいなど思うことがたくさんあり新たな視点でピアノと向き合う気持ちができ嬉しいです。他にも今まで知らなかったピアノレパートリーを学内コンサートで沢山聴くことができたのも今後弾いてみたいレパートリーができ勉強になりました。チェンバーミュージックの素敵さにも気がつくことができよかったです。レッスンでは新しい意見やアイデアを得ることができ演奏の工夫やディテールがしっかり生かされて、技術的な奏法も新しいものを得ることができました。授業としては、クラシックピアノの即興演奏の授業とピアノの構造について専門の方から学ぶ授業が東京音楽大学にはないカリキュラムであった為興味深かったし、実践的で演奏に生かされる内容でした。学外では美術館や建築物などが無料で観ることが出来、ミュージカルに行ったり地元のレストランにGSMDの友達と行ったりと人生経験として充実していました。</p>			
3. 反省点			
<p>あまりないです。</p>			
4. 今後の参加者に伝えたいこと(持ち物、事前学習等)			
<p>10月頃にも関わらずかなり気温が下がるのでマフラーとダウンコートは必ず必要だと感じました。現金はほとんど使わずに済む為、事前にVISAカードを作っておくと何かと困らなくて便利です。又、日本らしいちょっとしたプレゼントがあると友達やレッスンをしてくださった教授の先生に渡すことができる為良いかと思えます。</p>			

2024年度
短期留学成果報告書

学年	専攻 (楽器等名)	留学先	期間
4	ピアノ専攻	ギルドホール音楽院	9月30日～ 10月18日
1. 実施概要(具体的に)			
<p>最初に取り上げたいのはレッスンである。これは大変豪華に4人の教授の先生が2日おきにレッスンをしてくださり、同じ曲を複数の教授の先生から見るとどのように聴こえ、どのようなアプローチをするのかということが多角的な視線からみる事ができたことが大変良かった。それだけでなく、即興演奏の授業や現代音楽の授業といった、グループで行われる授業にも参加できる。そのほか、伴奏法の授業や歌や弦楽器の試演会にも見学をすることができ、伴奏の手法をお互い勉強しあい、話し合うことができるほか、歌や弦楽器の息遣いや弓使いを間近で感じる貴重な経験を得ることができた。さらにピアノの解剖の授業もあり、ホールで2台のピアノを同時に解剖することで、新旧2つのスタインウェイのピアノの内部を比較することができる貴重な時間があるなど、行われた授業は大変多彩であった。</p>			
2. 留学を通じて自身が得た成果			
<p>僕が最も楽しかったと思う授業が即興演奏の授業だ。僕は即興演奏が好きで、自分の思うがままに即興演奏をおこなっていた。それが自分にとってピアノをするモチベーションにもなっていた。ただ、自分は即興演奏を学ぶ機会には恵まれていなく、本当に良い即興演奏は何なのかを知る機会はなかった。即興演奏は問いと答えの関係で成り立っている。言いかえれば問いがあるから答えが出すことができるということを知ることができ、和音関係に注目しながらメロディーを作っていく過程を楽しむことができた。知らない世界を知ることができたという収穫を得ることができた。</p> <p>今回学んだ成果は主に2つある。1つは自分から積極的に動くということの大切さである。自分のことを知ってもらえるきっかけを作ることができるし、積極的な人と思ってもらえるきっかけにもなる。そして自分の趣味を積極的に発信し、一緒に過ごしていて楽しい人間関係を作ることができる。</p> <p>もう1つは自分がやったことのないいろいろなことに興味を持つことの大切さである。そうすることで音楽に対する視野が広がると感じたし、新しいことが好きなのか嫌いなのかを、やってもいないのに判断してはいけなと感じた。</p>			
3. 反省点			
<p>英語を聞き取ることはある程度できたが、それを言語化して話す能力をより高める必要があったと感じた。スピード感をもって質問に返答しないと、話が別の話題に進んでいってしまうことがある。そのため、英語で説明できるというトレーニングを日本にいるうちにより積んでからイギリスに行くことができれば、より自発的に授業に参加することができたのではないと思う。イギリスでは自発的に発言する機会が多く、そういった機会をどれだけ自分で活かすことができるかが求められているように感じた。</p> <p>さらに1人暮らしの生活の面でより自分で住環境を整えることができたらイギリスに行くことができたなら、余計な心配をすることなくイギリスでの生活を満喫できたと思う。今回、直前に宿がキャンセルになるなどのトラブルが発生しあたふたしてしまったので十分に吟味して宿を選ぶ必要があったなと感じた。</p>			
4. 今後の参加者に伝えたいこと(持ち物、事前学習等)			
<p>歴代の先輩方もAirbnbで宿探しをしており、そのようにAirbnbで宿をとることは決して悪いことではなく、値段も安く済ませることができる。ただし、トラブルが起きることも考えてほしい。自分の場合は1週間前に宿泊予定の宿がホストにより突然キャンセルとなり、代替の場所を四苦八苦して探した。そのため、レビュー件数がある程度多くあり、かつ評価も高いところを選択することを強く勧める。</p> <p>さらに英語に関しては、文法を学ぶことももちろん大事だが、話す能力と聴く能力を蓄えられる勉強を日本にいるうちからしておくことを勧める。そのうえで、いざイギリスに到着した後は、間違った英語をしゃべっても構わないので、積極的に話しかけに行くことが大変重要であると思う。</p>			